

## 2023 年度

### ニチイキッズわかみや保育園 自己評価総括表

地域社会における保育施設として、その運営や保育内容について、自らの保育実践を振り返り、自己評価を行いましたので、その結果を以下の通り公表いたします。

また、本自己評価の結果を踏まえ、今後も更なる専門性の向上や保育実践の改善に努め、より一層質の高い保育の実践を目指してまいります。

評価方法		
保育士等（全職員）の自己評価	評価期間	2024年1月10日（水）～1月31日（水）
	実施方法	全職員に自己評価について趣旨を説明し自己評価を実施した。
保育施設の評価	評価日	2024年2月7日（水）
	実施方法	話し合いにより職場全体で共有し、保育施設の課題を明確化し、改善策を検討した。

項目ごとの評価	
保育理念	園内に保育理念・保育目標を掲示。子ども達がおもいきり遊び込める内容を計画・実施した。HPやチラシ、玄関掲示などを通して保護者や地域の方に周知を図った。
子どもの発達援助	園児一人一人の成長と発達を見極めながら、生活や遊びを通して乳幼児期にふさわしい体験が得られるように、総合的に保育計画を立て、スタッフ全員で連携しながら保育を行っていた。
保護者に対する支援	保育参加の行事を行い、園生活の様子を見ていただく機会を作った。その他、皆と一緒に子ども達の成長を喜び合えるよう、作品展や秋祭り、お遊戯会などの行事を計画・実施することが出来た。
保育を支える組織的基盤	月2回の園内研修を実施。保育の質向上に向けて全スタッフが連携を取りながら保育計画を行い、取り組んでいた。

総評
園芸や食育活動を積極的に行い、園児が自然物に触れ体験型の保育を楽しめるよう工夫をしながら保育活動を行っていた。全クラス共通のテーマとして昨年度からの継続取り組みである感覚刺激遊びを意識した内容を多く取り入れ、園児がおもいきり遊び込める活動を月3回以上実施。日々の活動の様子は記録に残し、HPや玄関掲示にて保護者の方や地域の方に紹介をした。保育参加の行事や「てのりの」を利用した動画配信も行い、保護者の方に子ども達の園生活の様子を報告する等、保護者支援についても重視し積極的に取り組んだ一年だった。園内研修については月2回以上実施することが出来たが、外部研修の参加回数が昨年度よりも少なくなっている為、改善が必要。